



「じゃんがら念仏踊り」に関する資料の探し方

平成 28 年 6 月 発行(改訂版)

手がかりとなるキーワード

念仏踊り 伝統芸能 民俗芸能 年中行事 市指定無形民俗文化財

1. 基本的な情報源で調べる（テーマの理解）

テーマの大まかな情報を、参考図書(辞書・事典・用語集など)を使って確認してみましょう。

『日本民俗芸能事典』(第一法規) [R/386.8/ニ]

『民俗芸能辞典』(東京堂出版) [R/386.8/ミ]

2. 図書

(1) 資料検索システムで調べる

書名・著者名・件名などにキーワードを入力して検索します。キーワードがあいまいな場合は、「～で始まる」(前方一致)、「～を含む」(中間一致)などの条件付けをうまく使いましょう。

(2) テーマごとの書架で探す

いわき資料コーナーでは、主に「386 年中行事・祭礼」の分類の場所に置いてあります。

じゃんがらについて知る

書 名	内 容	出版年	分 類
『いわき市史 第 7 巻 民俗』	P438 から、じゃんがら念仏踊りの構成・内容、沿革などについて記述あり。常磐上矢田町や鹿島町走熊地区などの歌詞や楽譜が掲載されており、音楽的な面からもじゃんがらを知ることができる。口絵にカラー写真あり。	1972	地域 210.1-1 イ
『福島県史 第 23 巻 民俗 1』	P870 から「磐城じゃんがら念仏踊り」という題で記述あり。じゃんがらの原型といわれる「月念仏」についても言及。じゃんがらの歴史、踊りの内容、日時・場所、服装・楽器などの項目にわけて説明している。	1964	地域 210.1-0 フ
『磐城誌料 歳時民俗記』	大須賀筠軒が書き記した民俗書。「七月盆中」に江戸時代のじゃんがらの姿が描かれている。本書は大須賀筠軒自筆稿本を底本として、2003 年に翻刻・出版されたもの。	2003	地域 380 オ
『いわきのじゃんがら念 仏調査報告書』	「じゃんがら念仏踊り考」と題して、歴史的、民俗芸能それぞれの観点から記述あり。口絵にじゃんがら念仏踊りの写真や、分布図あり。各地区の活動団体のデータ(練習期間や場所、由来・沿革など)を掲載。巻末には、歌詞と楽譜が掲載されている。	1989	地域 386 イ
『じゃんがら その姿と広がり』	いわき市教育委員会作成のリーフレット。じゃんがらの歴史などが簡単にまとめられている。じゃんがらについて、英語の簡単な説明もあり。	出版年不明	地域 386 ユ

『いわき市の文化財』	いわき市教育委員会編。市指定無形民俗文化財として、P239 にカラー写真とともに紹介。	2017	地域 709 イ
『じゃんがらの国』 (夏井芳徳//著)	『世事談』『嬉遊笑覧』『武江年表』『小川江筋由緒書』『磐城枕友』『磐城誌料歳時民俗記』『石城北神谷誌』などの文献資料をもとに、紆余曲折に満ちたじゃんがらの歴史が、読みやすくまとめられている。	2012	地域 386 ナ
『じゃんがらブック』 『じゃんがらブック2』	いわき市文化活用実行委員会発行のリーフレット。じゃんがらがいつ初めて踊られたのか、じゃんがらの移り変わりなど、コンパクトながら充実した内容となっている。	2013	地域 386 ヴ

じゃんがらを守り伝える人々

『いわきのじゃんがら』	現存するじゃんがら実施団体と消滅した団体について、昭和 53 年にいわき市教育委員会が調査・報告したもの。現存する 69 団体については指導者氏名や実績、練習方法、由来などの記載あり。	1979	地域 386 イ
『いわき伝統芸能 フェスティバルの記録 第一回～第五回』	「じゃんがらのひろがり―念仏踊りの系譜」と題して、第一回いわき伝統芸能フェスティバルを開催。その際に出演した各団体の概要をまとめている。	1996	地域 386 イ

じゃんがらを聴く じゃんがらを見る

『福島民謡とわらべ歌』	P190～193 にじゃんがらの歌詞と楽譜が掲載されている。じゃんがらの簡単な解説もあり。	1974	地域 388 フ
『じゃんがら 自安我楽』 【CD】	小谷作青年会、成沢入敷青年会、赤沼青年会、下好間念仏保存会、舘じゃんがら念仏保存会じゃんがらを収録した CD。	2009	C/060/ヴ 【AV コーナー】
『じゃんがら念仏踊り』 【DVD】	いわき市内各団体のじゃんがら念仏踊りを収録したシリーズ。泉崎青年会、小谷作青年会、樫木峠平高野じゃんがら保存会、舘じゃんがら念仏保存会、上高久青年会、上荒川青年会、平窪伝統芸能クラブ（子供じゃんがら）を収録。	2013 2014	D/L/ヴ 【AV コーナー】

3. 逐次刊行物

郷土史関係の逐次刊行物は、次のようなものがあります。

『いわき地方史研究』（いわき地方史研究会）[K/210.0-1/イ]

いわきの古代～近代にわたっての論考・研究ノート・史料紹介などが寄稿されている。

『潮流』（いわき地域学会）[K/051/チ]

地質学・地理学・歴史学・考古学・民俗学・生物学他の立場から、総合的な観点でいわきにアプローチしている。

4. インターネットで情報収集

○いわき市暮らしの伝承郷 ホームページ <http://www.denshogo.jp/>